

公園内で見られる植物

写真は5月12日(土)
自然観察会で見られた
植物です



コメツブツメクサ (マメ科)

ヨーロッパ～西アジア原産の一年草で、道ばたや河原などに群生する。



ヒメジョオン (キク科)

北アメリカ原産の1～2年草。頭花は直径約2㌢。舌状花はふつう白色で100個ほどある。



コツクバネウツギ (スイカズラ科)

花／5～6月、新枝の先に花を1～7個つける。花は黄白色、または黄色、ときに淡紅色を帯びる。



ヒメハギ (ヒメハギ科)

山野の日当たりのよいところに生える常緑の多年草。茎は細くかたく、横にはい、高さ10～30㌘。



コバノガマズミ (スイカズラ科)

花／4～5月、枝先に直径3～7㍉の散房花序をだし、白い小さな花を多数つける。



ヒメコウゾ (クワ科)

花／雌雄同株。花期は4～5月。新枝の基部の葉腋に雄花序、上部の葉腋雌花序をつける。



ウマノアシガタ (キンポウゲ科)

山野の日当たりのよいところに生える高さ 30~70 ㎝の多年草。別名キンポウゲ。



タニウツギ (スイカズラ科)

花／5~6月、枝先や上部の葉腋に桃紅色または紅色の花を2~3個ずつつける。



キラソウ（シソ科）

道ばたや庭のすみ、山麓などに生える多年草。全体に縮れた毛がある。シソ科では珍しく茎がまるく、地をはって広がる。



タツナミソウの仲間（シソ科）

花が片側を向いて咲く様子を、泡立って寄せてくる波に見立てたもの。